

クラブテーマ 「一人ひとりが輝こう」
出会いと絆を大切に

会長：北 健司 例会日：金曜日 12:30~13:30
副会長：加藤久仁明 例会場：ホテルプラザ勝川
副会長：伊藤 一裕 事務局：春日井市鳥居松町 5-45
幹事：青山 博徳 TEL:(0568)81-8498 FAX:(0568)82-0265
会報委員長：枋本 正樹 E-mail : ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp



<ランドラ>

本日のプログラム

	司会	会場委員会
・点鐘	会長 北 健司君	
・ROTARY SONG	「日も風も星も」	
・今月の歌	「浜辺の歌」	
・ビジター紹介	会長 北 健司君	
・委員会報告		
・会長挨拶	会長 北 健司君	
・IDM		
・幹事報告	幹事 青山 博徳君	
・点鐘	会長 北 健司君	

今月の歌

「浜辺の歌」
あした浜辺を さまよえば
昔のことぞ しのぼるる
風の音よ 雲のさまよ
寄する波も 貝の色も

先週の記録

会長挨拶 会長 北 健司君

「中曽根康弘氏について」

皆さんこんにちは。今日も例会への出席ありがとうございます。本日は中曽根康弘元総理についてお話しさせていただきます。中曽根元総理は大正7年(1918年)5月27日生れで、昨年、令和元年(2019年)11月29日に逝去されました。101歳の大往生でした。

中曽根元総理については多くは申し上げる必要はないと思いますが、昭和58年(1983年)11月11日、自身の所有する日の出山荘にレーガンアメリカ大統領(当時)を招き日米首脳会談を行いました。いわゆる「ロン・ヤス会談」であります。他にも、当時のゴルバチョフソビエト連邦大統領や、全斗煥(ぜんとかん)大韓民国大統領などが日の出山荘に招かれています。中曽根氏はバラへの造詣も深

6月：ロータリー親睦活動月間

	6月26日(金)	7月3日(金)	7月10日(金)	7月17日(金)
例会予定	休会(定款8-1)	第1回理事会 11:15~ 全員協議会・クラブフォーラム・入会式 第1回クラブ協議会 13:30~	祝福 クラブフォーラム	夜間例会 IDM ミライエ 17:45~受付 18:15~例会開始

2020年6月19日(金)2446回(6月第3例会)

く、当時日の出山荘には大変多くのバラが植えられていました。日の出山荘は平成18年(2006年)、本人より東京都西多摩郡日の出町に寄付され、翌年より「中曽根康弘・ロナルド・レーガン日米首脳会談記念館」として一般公開されています。

戦後の高度成長の波にも乗り、バラは日本中に広く普及していきました。

京成電鉄の京成バラ園、小田急鉄道の旧：向ヶ丘遊園ばら苑(現：生田緑地ばら苑)、京阪電鉄のひらかたバラ園など、鉄道会社が沿線開発の一環としてバラ園の造営を行うなど、各地に大規模なバラ園が開園されました。また、日本でもバラの品種改良が盛んに行われるようになり、優れた日本作出花は世界を驚かせました。

昭和62年(1987年)、竹下登氏を後継総裁に指名して退陣され、翌年の昭和63年(1988年)には財団法人日本ばら会会長に就任して頂きました。平成18年(2006年)には東洋で初めて世界バラ会議が日本で開催され、世界のバラ先進国の仲間入りを果たします。

平成23年(2011年)、日本ばら会は法人改革により公益財団法人日本ばら会となりましたが、中曽根氏には引き続き初代会長に就任して頂きました。

2003年に石橋五夫氏が作出した純白の大輪花を、日本ばら会から「プライム・ミニスター・ナカソネ」と命名して贈呈し大変喜ばれました。日比谷公園の一角には記念植樹された「プライム・ミニスター・ナカソネ」が現在も美しく咲いています。

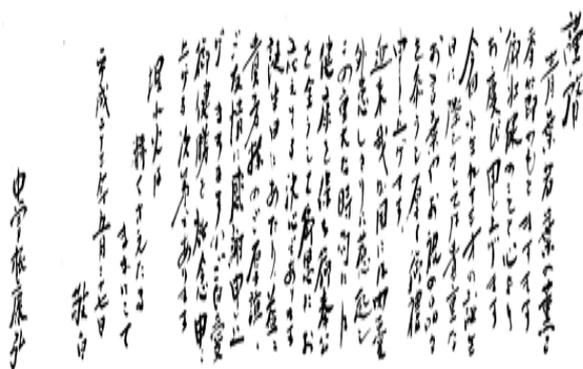
私は縁あって逝去されるまでの10年間、毎年5月27日の誕生には我が家で咲いたバラを花束にして東京都港区虎ノ門の事務所に持参しておりました。満100歳まで大変お元気で、最後まで矍鑠(かくしゃく)とされていました。93歳の時に頂戴した礼状には「埋もれ日は赤くさえたるままに

して」と読まれていました。心よりご冥福をお祈りします。

最後に中曽根会長逝去に伴い、公益財団法人日本ばら会の会長には、吉田茂の孫である麻生太郎元総理（現財務大臣）に就任して頂きましたことをご報告申し上げ、本日の会長挨拶とさせていただきます。一年間、私なりの「バラのささやき」をお聞きいただき、ありがとうございました。



晩年の中曽根康弘氏（99歳の誕生日にて）



「埋もれ日は赤くさえるままにして」

幹事報告

幹事 青山 博徳君

これからの RC 活動予定

本日 6 月 19 日が本年度の最終例会です！！

次週 6 月 26 日は休会ですので御注意下さい。

次回例会は 7 月 3 日金曜 12 時半からです。

通常例会の出席に関して

6 月中の例会メイクアップに関しては、新型コロナウイルス感染症拡大の懸念の為

会報をお読みにになり、2 週間以内に事務局へコメントをお寄せ頂くことで出席扱いとさせていただきます。

新入会員入会承認の件

下記 2 名の異議申立てが有りませんでしたので入会承認を致しました。

下別府正樹君（大和エネルフ・稲垣勝彦君後任）

加藤 昭博君（東濃信用金庫・西尾隆吏君後任）

第 12 回理事会において下記議案は総て可決承認されました。

審議事項

第 1 号議案：開始貸借対照並びに 5 月度収支承認の件

可決承認されました。

第 2 号議案：姉妹都市市民の会年会費納入の件

本年度も特別会費 2 万円を納入します。

第 3 号議案：水谷高広君入会承認の件

理事会にて入会承認を得ましたので

6 月 19 日より 7 日間の異議申立期間と致します。

第 4 号議案：次年度理事・役員変更の件

※旧任者の 6 月末、退会の為。

	新任	旧任
役員	会計 加藤 昭博	(西尾 隆吏)
理事	社会奉仕委員長 伊藤 一裕	(稲垣 勝彦)

出席報告

委員長 藤川 誠二君

会員 55 名	欠席 15 名	出席率 72.7%
先々週の修正出席	欠席 0 名	出席率 100.0%

ニコボックス委員会 委員長 梅村 守君

○例会への出席ありがとうございます

北 健司君

○今回は夜間例会です。

青山 博徳君

○卓話をやらせていただきます。

よろしくお願ひします

和田 了司君

○エレクトーン奏者の太田さんをご紹介できる

喜びで

川瀬 治通君

○本日、サラリーマン川柳コンクールの 200 選の冊子を配布させて頂きました。コロナ感染拡大前ですので安心してご覧ください

西村 輝幸君

○本日卓話よろしくお願ひします

稲垣 勝彦君

○大変いいことがありました。

山田 治君

○フェイスガード新聞で見ました。場々大刀雄君

○東北は会津（豪雪地帯）での約 5 年間の生活で
名古屋の暑さはこたえます。

中澤 一君

○卓話楽しみにしております

梅村 守君 大西 信之君 大原 泰昭君

岡本 博貴君 小川 長君 小柳出和文君

風岡 明憲君 加藤久仁明君 加藤 茂君

近藤 太門君 清水 勲君 社本 太郎君

宅間 秀順君 峠 テル子君 朽本 正樹君

成瀬 浩康君 内藤 修久君 新美 治男君

速水 敬志君 廣瀬 清司君 藤川 誠二君

古屋 義夫君 松尾 隆徳君 三上 努君

水上 耕一君

○ご協力ありがとうございます。

ニコボックス委員会

卓話

和田 了司君

私と枋本さんがリーダーとなる2020～2021年度が2週間と迫り、心身共に身の締まる思いであります。(物理的には身は締まってはいませんが)。来年度はとて特別な年度です。未曾有のコロナウイルスにより、ワクチンも治療薬がない状態で感染しているかもしれないという恐怖、感染したら命にかかわるかもしれないという恐怖、3密回避のための不急不要の外出の自粛による休学・休業による学業の継続の危機、解雇による生活困窮の発生。我がクラブにおいても3密を回避するためリアル例会が3ヶ月もホテルでの実施できない状況となっている。しかし異例のWEB例会の実施・会員エッセイの小冊子の企画は我クラブの誇りです。残念ながら、コロナの影響は来年度も継続します。そんな状況ではありますが、皆様に支えていただきながら誠心誠意ロータリークラブの運営をする所存であります、よろしくおねがいします。私は皆様に「3つのお願い」をお願いしたいと存じます。1つめのお願いは、コロナウイルスによって本来継続されるはずの学業の断絶を強いられている方をロータリアンとして、行政の光から取り残されている人たちを発見していただきたい。2つめのお願いは、コロナウイルスによって解雇され生活困窮した人の発見です。先週の日曜、旧友の鈴木さんを訪ねた際に明日のお米まで心配している人を間近に見て大変ショックを受けた。彼が本業のかたわら「ランドセルプロジェクト」という奉仕活動をしていると聞いていたので手土産として文具セットを10点を持ってゆきました。ランドセルに入れる文具としてありがたいと大変喜んでいただきました。私が訪ねたのは、知立市にあるカフェ「カフェテリア ファミリー」。日系ブラジル人の子どもたちが、東海地方を中心に全国から集まった中古のランドセルを受け取っています。「ランドセルが買えなくて、教科書やノート・鉛筆をスーパーのビニール袋に入れている子がいる」と聞き、何とかできないかと」はじめたとのこと。日系人労働者は日本に来るため借金をつくるから、最初1年間は生活が苦しい」そんなわけで「ランドセルが買えなくて、教科書やノート・鉛筆をスーパーのビニール袋に入れている子がいる」と聞き、何とかできないかと」(鈴木理事長) ランドセルプロジェクトが発足し、知立市から全国へと広がり、プロジェクトで集まったランドセルは700個を超えたとのことです。コロナウイルス発生後、「カフェテリア ファミリー」では、日系人の1/4が解雇され明日のお米にも困る生活困窮者が増加している。生活援助としてのお米の配布が多くなり「カフェテリア ファミリー」の財政は火の車だそうです。私は何かできることないかと、知立ロータリークラブエレクト野々山さんを鈴木理事長に紹介いたし

ました。価値ある奉仕を待つ人々がいても灯台元は暗いものです。3つめのお願いは、3密事態に対応してズームを利用したWEB例会を実施できるよう、ズームの講習を目的とした例会を実施します。皆様には、ズームが出来るようタブレットもしくはWEBカメラ・マイクが付いたパソコンの準備をしていただくことをお願いいたします。会員間の連絡手段としてラインのグループを利用してゆきましょう。初めての人はズーム講習会で設定と利用法をお伝えします。ロータリーの奉仕の理想を実践し、学業、生活の断絶を回避に役立つ奉仕活動をみんなでゆきましょう。ロータリアンとして誇りが持てる活動をしてゆきましょう。コロナの3密にも対応できる例会が出来るクラブになりましょう。

卓話

稲垣 勝彦君

皆さん、会場委員長の稲垣です。

皆さんには大変お世話になりましたが、このたび、大和エネルギーを6月で定年退職することに伴いまして、春日井ロータリークラブも退会させていただくことになりました。

このタイミングで卓話の機会をいただいたことは、私にとりまして、皆さんに私の会社のことや私自身のことをお話させていただけるので大変良かったと思っています。まずは、感謝を申し上げます。今日は、私の履歴書と題して、私のこれまでの足跡やら、大和エネルギーの事業内容や私が仕事としてやってきたこと、さらにはロータリークラブでの思い出などをお話させていただきます。

まず、私の経歴ですが、私は生まれも育ちも春日井市です。JR神領駅と高蔵寺駅の間で庄内川沿いにある大留町で生まれ育ちました。小学校は、不二小学校、中学校は高蔵寺中学校、高校は名古屋市立桜台高校、大学は愛知大学法経学部経済学科を卒業し、昭和53年4月に春日井市役所に入庁しました。

市役所時代はいろんな課を経験しました。市役所時代の主な仕事3つを紹介しますと、その一つが広報広聴課です。

広報広聴課に通算12年在籍しました。この課は、広報春日井などで市政情報を発信する広報担当と、ホットラインなどで市民の声を聴く広聴担当があり、私は広報担当を中心に主査。課長補佐から課長までの職責を勤めました。

特に、広報春日井の制作と新聞記者への報道対応を長く担当しました。

そして、二つ目が春日井まつりの刷新に携わったことです。丁度、鶴飼市長から伊藤市長に代わったときに、伊藤市長から、当時マンネリ化していた春日井まつりを市民協働のモデルとして市民の皆さん

と一緒に企画からすべてを刷新し、その命を受けて3年間取り組みました。それこそ、市民団体の方達を奔走し、各方面で活躍されていた人たちと一緒に企画を考えてまつりに取り入れました。私は、この3年間で文化団体や商工業者、ボランティア団体の皆さんと一緒に汗をかいたことで太い絆ができ、私の人脈となり私の人生を大きく左右するほどの財産となりました。

そして3つ目が、定年までの5年間産業部長を拝命し、商工会議所と一緒に市内企業の支援・育成をしたり、新しく造成した工業団地への大型企業誘致などを手掛けました。産業部時代も市内企業の社長さんたちや商店街の店主の皆さんとの関わりによって私の人脈はさらに増え、一層大きな財産となりました。

そして、定年退職となり、市の外郭団体である春日井市スポーツ・ふれあい財団に移籍しましたが、私の財産である人脈を活かして地域に貢献したいという思いが叶わないことに紋々としていたところ、大和エネルギーの峠社長と話をすることがあり、大和エネルギーが地域貢献事業に力を入れていることは知っていましたので、その事業に私の人脈を使ってもらえないかと話をしたら快諾をいただき、現在、会社の社会貢献事業を通して地域貢献させていただいているといった状況であります。また、会社から春日井ロータリークラブにも派遣していただいて、ロータリー活動をする中でも地域貢献に一役関わらせていただきました。

ここからは、私が勤務する大和エネルギーの概要についてお話をさせていただきます。

大和エネルギーの車はよく見るけれど事業の概要についてはなかなかご存じない方が多いので、特徴的なところを紹介させていただきます。

大和エネルギーの一番の特徴は事業所から産業廃棄物として出る廃プラスチックなどから石炭などの代替燃料となる固形燃料（RPF）を製造して、市内の王子製紙をはじめ国内の製紙工場などに納めていることです。

さらに特徴的なのは、この固形燃料のRPFは、極力塩素濃度を抑えることで大気汚染の原因となるダイオキシンを抑制できるもので、4年前に東海4県で初めて日本工業規格（JIS）の最高品質基準の認証を取得することができました。この廃プラスチックのリサイクルは、化石燃料の延命化はもちろんのこと、本来なら廃棄されるプラスチックが燃料として活用できるという大きなメリットがあります。

今、国連が提唱するSDGs（エスディーゼーズ、持続可能な社会の実現）がようやく日本でも提唱されるようになってきましたが、我が社の取り組みとして、市内から出される廃プラスチックが弊社の工場

で固形燃料（RPF）となり、王子製紙の工場で燃料として使われ、結果、紙製品が製造され市民に販売されるという循環型のエコリサイクルが春日井市内で実現されています。これこそまさに未来に向かって持続可能な社会への取り組みと言えるものです。

次に、会社での私の役割についてお話させていただきます。

私は、執行役員地域連携室長として、会社の地域貢献事業を担当することと、商工会議所や市役所、さらには、いろいろな人たちと繋がって会社のイメージアップを図っていくことが私のミッションです。まさに、私の人脈が生きる仕事だと思っています。

2017年に入社してすぐに私をロータリークラブに入会させていただきました。このことも、地域の各方面で活躍されている人が多いロータリークラブに所属することで、地域貢献という会社の使命を果たせるのではないかと峠社長の配慮だと思っています。

大和エネルギーの地域貢献事業でどんなことをやっているのかを紹介させていただきますが、まずは、なぜそこまで地域貢献事業に取り組んでいるのかをお話します。

弊社は、愛知、岐阜、三重を中心に約5000社から廃棄物を収集して90%以上をリサイクル化して事業を行っており、まさに弊社は地域の皆さんに支えられています。そうしたことから、この地域がますます活性化し、発展するように地域貢献事業に力を入れています。

その地域貢献事業の代表的なものが、「未来にいいこと応援プロジェクト」です。この事業は平成31年度に始まり今年で3年目になりますが、春日井市内で「環境まちづくりへの実施」「人が輝く社会の実現」「次世代産業の育成」の3分野に取り組む法人及び団体に対して奨励金を交付して応援するものです。平成31年度が7団体8事業、令和元年度が8団体9事業、令和2年度は4団体5事業に奨励金を交付しています。その団体は、春日井市民に対して様々な企画を実施することでまちの活性化に取り組んでいただいています。そうした人たちに応援することで少しでもお役に立てればとの峠社長の思いから始まりました。

そのほか、春日井まつりや新春春日井マラソン大会へのメインスポンサーとしての協賛や市への寄付、月刊はるで「春日井の未来にいいこと！シリーズ」の掲載、市内各地で行われるイベントへの協賛など積極的に支援を行っております。

最後に、私のロータリークラブでの思い出についても、お話させていただきたいと思います。

私にとって一番の思い出は、一昨年から昨年にかけての50周年事業を皆さんと一緒にやらせていた

だいたいです。

一昨年の秋に多文化共生事業を市役所(ささえあいセンター、市民安全課、消防本部)、春日井警察署と一緒に市役所の広場で外国人との共生を考えるイベントを実施したこと、同時に市民会館で県警の音楽隊や東海メールクワイアの合唱などコンサートを実施したことですね。いろいろ準備が大変でしたけど、何とかやりきれたことは本当に良かったと思います。

また、勝川駅南口に時計塔を設置してセレモニーを実施したことも思いで深いです。春日井ロータリークラブの50周年記念が形として存在していることが良かったと思います。

皆さんと一緒に過ごした3年間は、私にとりましてロータリアンとして活動できたという充実感でいっぱいであり、心から誇りに思います。

これまで、大変お世話になり、ありがとうございました。7月から、後任の下別府が入会させていただきますが、私同様によりしくお願い致します。

ご清聴ありがとうございました。



卓話 稲垣 勝彦君



祝福 会員誕生日



会長挨拶 北 健司君



祝福 結婚記念日



卓話 和田 了司君



アテンダンス表彰

